

フレシネーPC——そのルーツを訪ねて

藤田 堯雄*

フランス・マルヌ川に架かる5つのPC橋は1947年～1950年に建設されたスパン76メートルのPCブロック工法によるすべて同形式の橋梁群で、真にPCの初期を代表する記念碑の1つである。筆者はそれらの現況を自分の目で確かめてみたいと思っていたところ、93年11月初旬Parisでフレシネーインターナショナル社の50周年記念レセプションに出席した折その機会を得、11月6日土曜日、午後半日を歴史的橋梁のPC-ウォッチングに当てることができた。

これら橋梁はParisの東40～45km辺りに位置し、幹線道路を走ってその近くまでは容易に行けるのだが、それからかなり難しい。畑の中や運河に沿った小さな町を通り抜けたり、Uターンをしたり、ホテルで手配したハイヤーの若い運転手フランク君と二人で地図を頼りに探し廻った。流石、フランスの地図がしっかりしているからか、どんな道にも番号がちゃんと付いているからなのか、不慣れな外国人にも何とかフォロー出来た。以下はParis出発からの記録である。

13時きっかりにParisコンコルド広場を通過し、セーヌ河右岸を走ってルーブル博物館、パリ市役所等の

横を通り、大蔵省の横のバカ長い建物を通り過ぎるとBercy地区に入る。この地区は目下再開発中で、その開発は対岸の国立図書センターの建設工事とともにParis市内の超大型プロジェクトの1つである。すでにスポーツセンターやワインセンター等の大きな建物が完成している。Bercy地区東はずれでPCブロックカンチバレーの橋をくぐると高速道路A4に入る。

Parisの東方面は他の三方面に比べて開発が遅れている。交通量も少ない、地価が安くて高速道路の完成で交通が便利になれば、これからの開発には適しているようだ。Marne La Valleeという地方ではスペインの有名な建築家の設計による高層ビルを中心とした新都市が建設中であった。

さらに進むとユーロ・ディズニーランドの標識が出てきた。1992年5月にフランスに生まれたアメリカ文化村は良くも悪くも多くの注目を集めているようだ。中にあるホテルは宿泊料金が高く利用者が少ないとのこと、またこの地方は霧が多く冬はかなり寒いだけに季節変動が大きい。事実、この日は土曜日の午後であるにも拘らず園内は閑散としていた。ディズニーランドの正面で

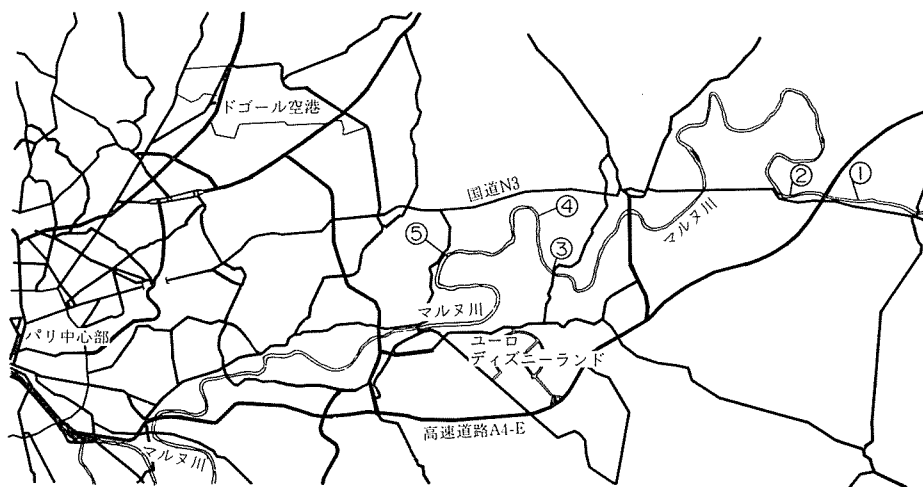


図-1 位置図

- ① Ussy-sur-Marne ② Changis-sur-Marne ③ Esbly
④ Trilbardou ⑤ Annet-sur-Marne

*Takao FUJITA : 極東鋼弦コンクリート振興(株)



写真-1 Ussy-sur-Marne

Uターンをして高速道路に戻り 15 分ぐらい走って St Jean La Fente で一般道に降りる。Ussy の表示版に沿って左に折れるとすぐにマルヌ川が現れ、めざす PC 橋を渡った。

道端に車を止め河岸まで降りてアバットの横から見上げた。Ussy-sur-Marne の PC 橋であった。これがフレシネー氏の設計・施工指導の基に STUP 社によって完成した最初の PC 橋である。

次に Changis, 町のはずれにあったこの橋は Ussy の町を出て 20 分足らずで簡単に見つけることができた。

第三番目の Esbly, これは大変だった。初めの 2 橋から 10 数キロ離れていて、甜菜の畑の中の農道や小さ

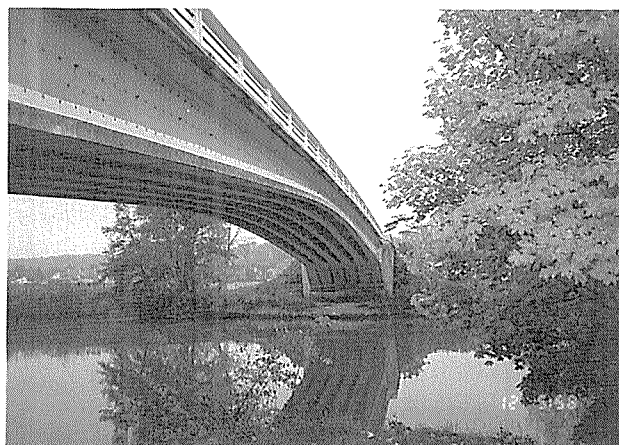


写真-2 Ussy-sur-Marne

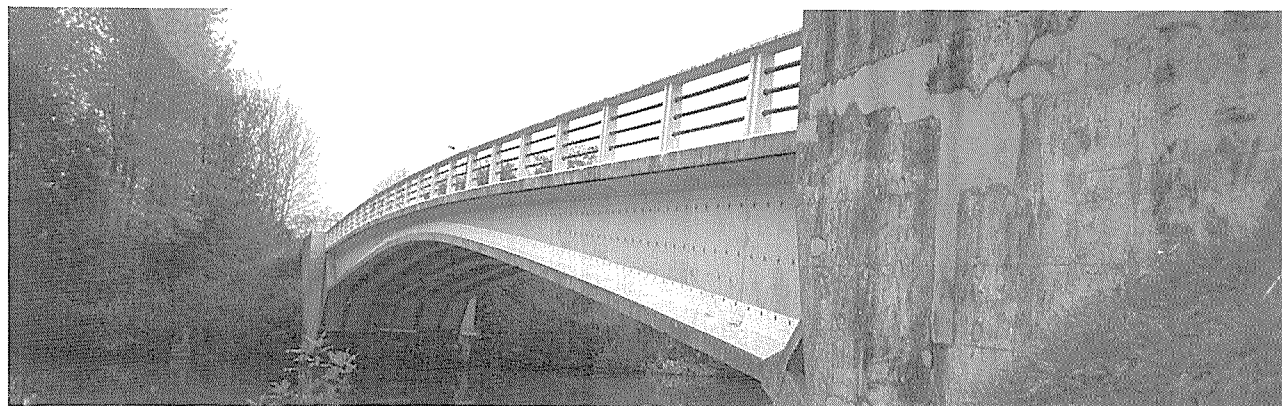


写真-3 Changis-sur-Marne

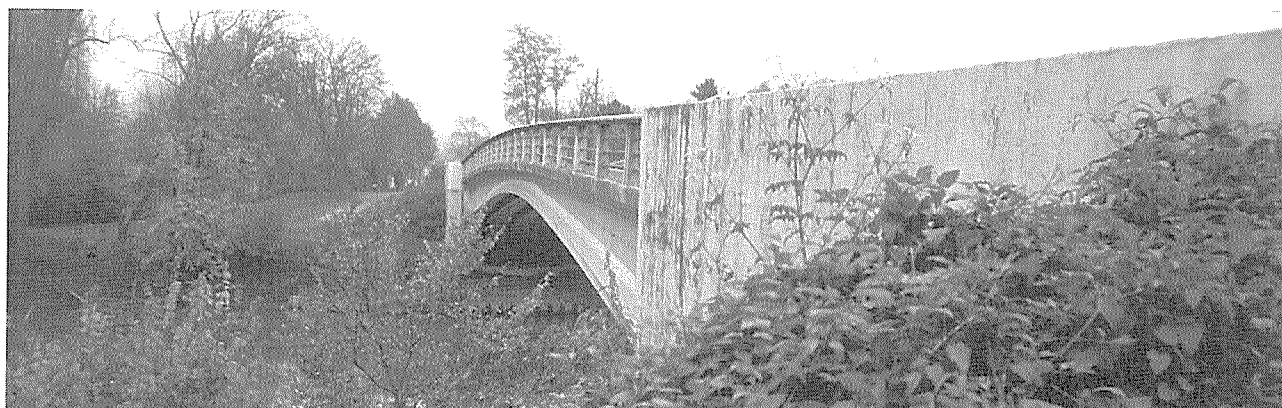


写真-4 Esbly

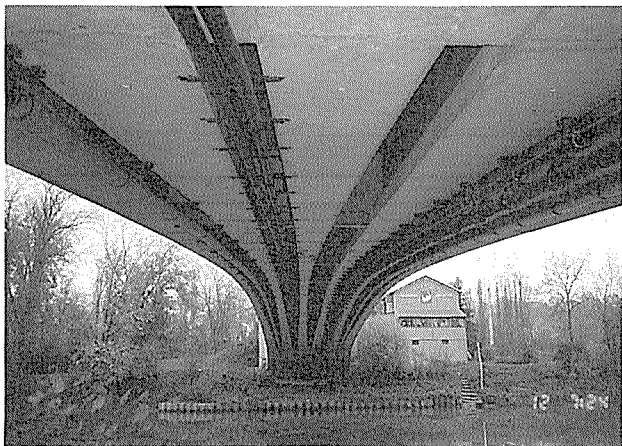


写真-5 Esbly



写真-6 Trilbardou

な町をいくつか通り抜けているうちにどこに居るのかははっきりしなくなり、Changisを出てから小1時間かかった。他の橋とは違ってかなり大きな町のはずれにあって最も交通量の多い橋であった。一度はあきらめかけた橋に出会えたので、5橋完遂の目途が立ちほっと一息。

次に Trilbardou, 木々の紅葉とマルヌ川のたっぷりとした流れ, そこでゆっくりと泳いでいる白鳥, そして

実にスレンダーな PC 橋がすばらしい調和を見せていた。

いよいよ5番目, Annet, 運河に沿って走ったり曲がり角を行き過ぎたり, 日没までには時間があつたとはいへ思ったほど簡単ではなかった。16時30分, 遂に見つけた。これで今回目的とした5橋のPC-ウォッチングの完成である。

戦後間もない時期によくもこのような美しい橋を造っ

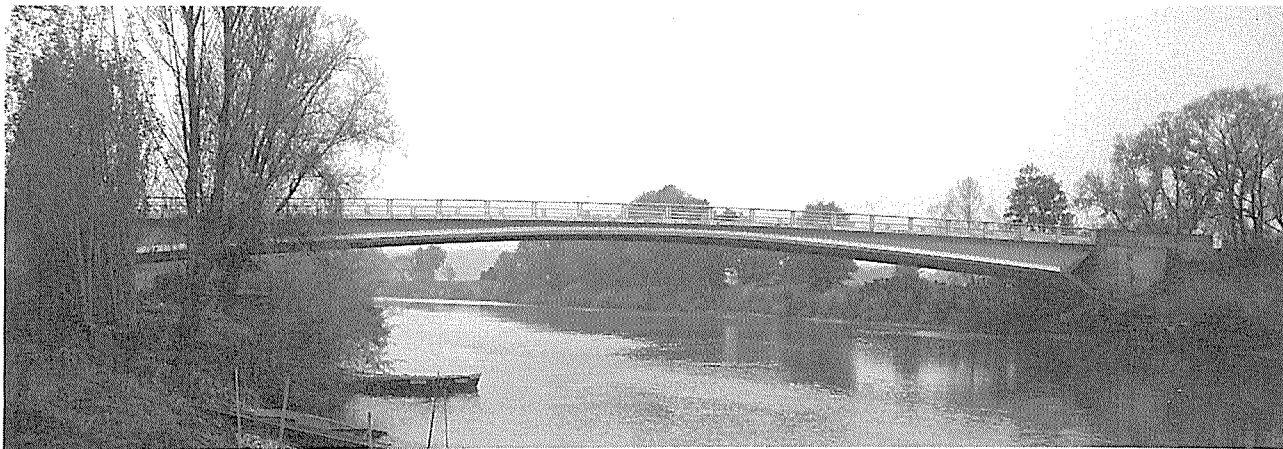


写真-7 Trilbardou



写真-8 Annet-sur-Marne

◇報文◇

たものだ。しかも約 50 年の風雪に耐え、本体は勿論プレキャストブロックの接合部にも何ら変状が出ていない。手持ちのわずかな資料によると、これら 5 橋はすべて同形式で、この辺りのヤードでまとめて造られたプレキャストユニットを舟で現場に運び、架設し、一体化したスパン 76 メートルの縦・横・垂直の 3 方向にプレストレスを導入した橋梁である。また両端のアバットは戦禍で破壊された旧橋のものを構造的に補強して使用しているとのことだ。

これら 5 橋の数年前に同じマルヌ川に建設された PC 橋が Luzancy という町にある。これは今回訪問できなかったが、同橋はスパン 50 メートル、幅 8 メートル、プレキャストブロック方式で 1941 年に着工し途中戦争

で中断したが 1946 年に完成しており、5 橋とともに PC 橋初期の代表格の 1 つである。

ともかく美しい橋である。スレンダー、スマート、エレガント……いろいろな表現が浮かぶが適格な一語を決めるのはむずかしい。これらの橋はそれまでのコンクリート橋の重厚なイメージを一新させてしまったことはまちがいない。合理的なものを深く追求してこのような機能的な美しさに到達したのか、初めに形状を決めてから技術的に進めたのか、それを実現させた設計者の自信、勇気、そして社会的に新しいものを納得させた努力、忍耐等を半世紀近くを経て訪れた者にも充分に感じさせるものがあった。

【1994 年 3 月 30 日受付】